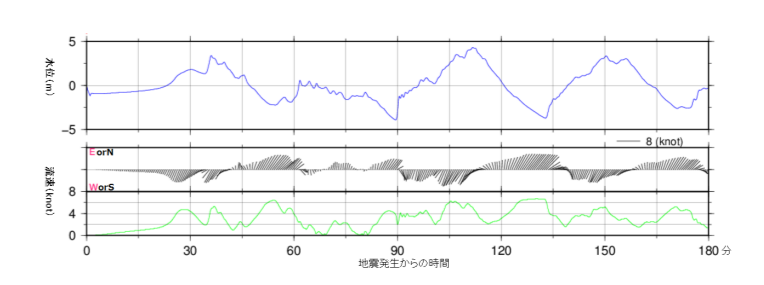


計算条件: 最高水面(零位)  
 隆起量: 平均 -0.12m(-0.11m ~ -0.13m)  
 Zo: 0.90m  
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



### 凡例

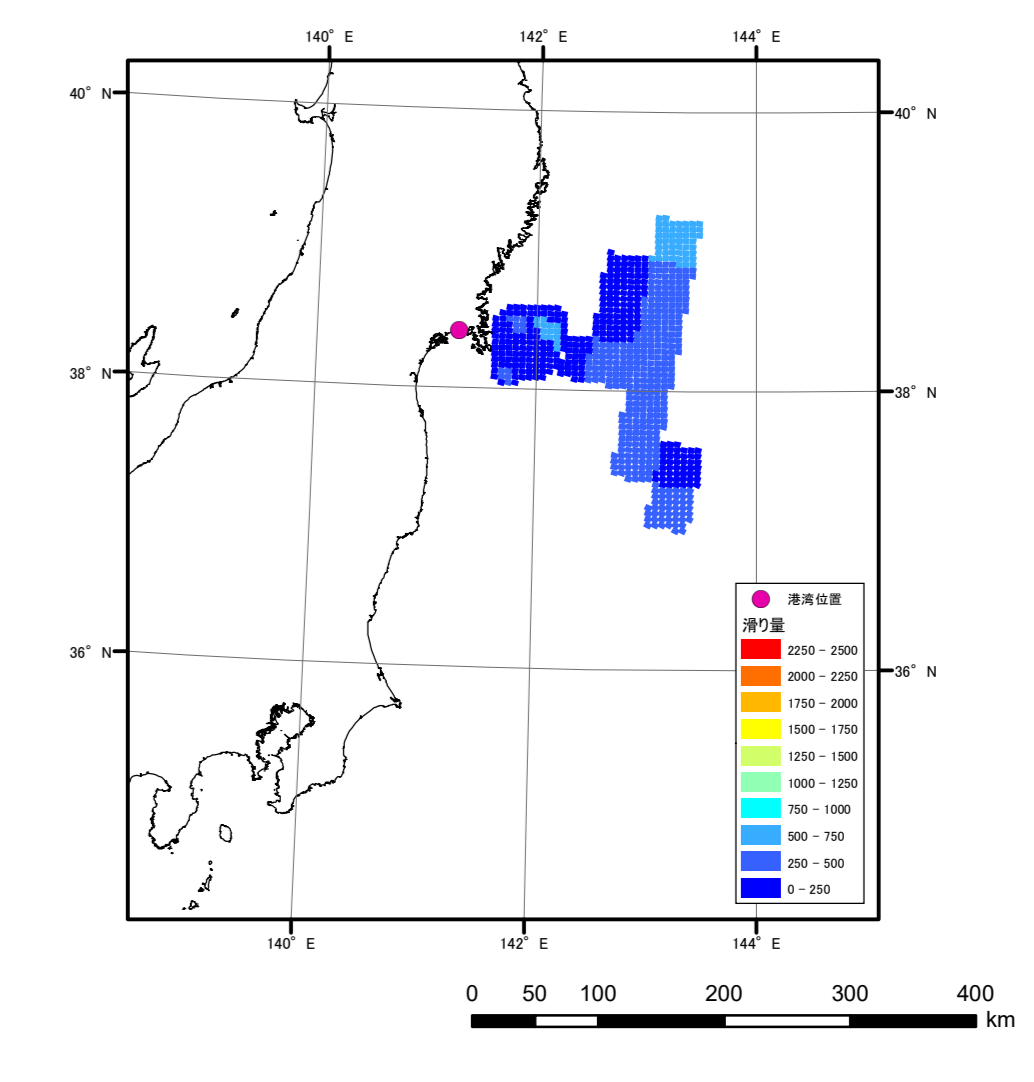
- 水位上昇(+30cmとなる等時線(分))
- 最大水位上昇
  - 3~最大3.0m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
- 経時変化図出力点  
(図上の位置における津波の挙動を列挙の経時変化図で示す。)
- 水位、流向・流速経時変化図



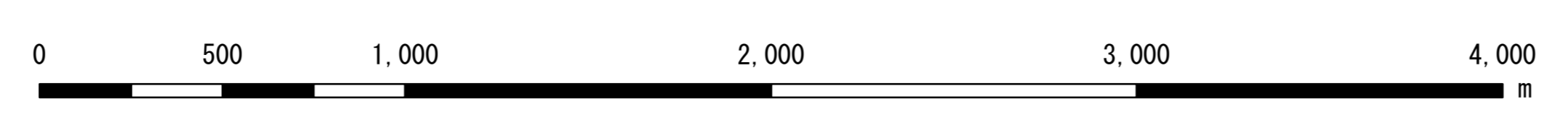
- 進入時最大流 (knot)
  - 3 knot
  - 2 knot
  - 1 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から30cm変動した時点を出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものと計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

### 断面モデル



宮城県沖地震  
 モーメントマグニチュード Mw 8.2



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情保 第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。